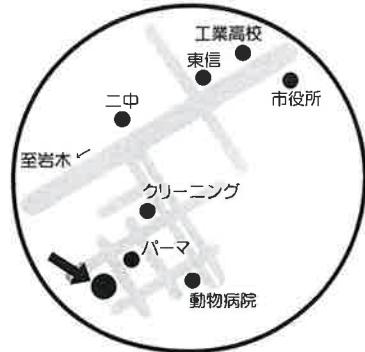


ダビデ保育園子育て通信

(弘前市城西2丁目5の6 TEL 33-1206)



~こひつじだより~



+ 9月の聖句



隣人を自分のように
愛しなさい。
(マタイ 22・39)

主イエスは、信仰の中で最も重要な掟として、神を愛すること、隣人を愛することを教えています。

その人の人生が豊かであったかどうかは、よい出会いがどれだけできたかということにあります。

何かを習ったり覚えたりすることよりも新しい出会い～神さまとの出会い～こそが大きな財産です。



おつきさまのパンケーキ

真珠まりこ／作・絵



おつきさまをながめいたら、あれれ? とろとろ、とろり。月がたってきたよ。それをフライパンに入れて…。空からたれてくるおつきさままで美味しいそうな、ふしづな食べ物絵本です。

吃音ゆっくり見守って

言葉の発達が著しい2～5歳の時期に、約5%の子どもが吃音になるという。自然に治る場合もあるが、発症の原因などは十分に解明されていない。無理に治そうとせず、周囲がゆったりとした気持ちで話を聞いてあげることが大切。

吃音には3種類の症状があるという。①“き、き、きのうね”と音を繰り返す。②“きーのうね”と最初の音を引き伸ばす。③“……っきのうね”と言葉を出そうとしてもつまってしまう。

症状が進むと、腕や首を振ったり、足を動かしたりしながら言葉を出そうとする。また“本をとって”と言いたいのに、“ほ”という音が出しにくく、言うのをやめてしまったり、“それをとって”と言い換えるようになる。

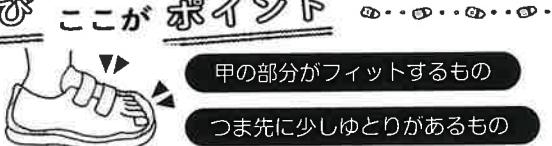
原因はまだ解明されていないが、女児に比べて男児に3、4倍多い傾向がある。大人はつい“心配”し、“落ち着いて”“深呼吸をしてみたら”などと注意し、言い直しさせてしまいがちだが、自由にしゃべらせ、ゆっくり話を聞いてあげるのが大切。無理に治そうとすると話すことを嫌がってしまうようになる。

吃音は、その人の話し方の特徴だと考え、吃音でも大丈夫と言うメッセージを親が子どもに与えることが重要。また周囲の人も、言葉につまりながらも一生懸命話そうとしている姿などを、決してからかったりしないでほしい。

—吃音の子どもとのかかわり方のアドバイス—

- ①顔を見て最後までゆっくり話しを聞く
- ②大人からは短くわかりやすい言葉で話しかける
- ③話し方を注意したり、言い直しさせたりしない
- ④子どもが言いたいことを先取りして言わない
- ⑤子どもとゆったりと向き合う時間をつくる

～読売新聞より～



子どもの靴選びここがポイント

靴底が硬すぎないもの
甲の部分がフィットするもの
つま先に少しうとりがあるもの

子どもは足の指で地面をつかむようにして歩くため、靴底が曲がりやすく、つま先に指を動かすゆとりがあるものを選びましょう。また、しっかりフィットするように、ひもかワンタッチテープで甲の高さを調整できるものがよいです。

子どもの足はすぐに大きくなります。サイズが合っていないと、ケガの原因に。3ヵ月ごとに大きさをチェックしましょう。

9月の予定

1. 電話による育児相談

月曜日～金曜日 AM9:00～PM4:00



1人で悩まないでちょっと電話をしてみませんか?
心が軽くなるかも……?
御希望により面接、訪問、出張もいたします。
ご連絡ください。

2. 看護師による保健相談

・子育てのこと、健康のこと、気になること、何でもご相談ください。

3. みんなであそぼう!

9月6日(金) AM10:00～12:00

「あそぼう!!」

ホールでたくさん体を動かして遊びましょう。いろいろな遊具があります。どなたでもどうぞ!!



※人数制限をやめました。
前日までの予約をお願いします。



新型コロナウイルス感染症対策として、以下のことに留意してご参加下さい。

- ・体温がT 37.5℃以上ある、また力ゼ症状等がひどい場合は参加をご遠慮下さい。
- ・活動中、密になるような時はマスク着用(大人のみ)をお願いすることができます。